

平成24年度
自己点検・自己評価報告書

平成25年6月



学校法人 IGL 学園
IGL 健康福祉専門学校

「平成24年度 自己点検・自己評価について」

本校では、教育研究水準の向上と活性化を図り専門学校の目的及び社会的使命を達成するため、自己点検・評価委員会を設け本校の教育研究活動等の状況について『専修学校における学校評価ガイドライン』に基づき自己点検・評価を適切に実施し、その結果を報告書としてまとめました。

今回の自己点検・評価の結果を参考にして、更なる教育研究水準の向上に努め、より良い教育の場であることを目指し、改善を進めて参ります。

平成25年6月

学校法人 I G L 学園

I G L 健康福祉専門学校

学校長・自己点検評価委員長 野村 敏之

< 目 次 >

基準 1 教育理念・目標・育成人材像等	P1	3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
1-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)		3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや 教育方法の工夫・開発などが実施されているか
1-2 学校における職業教育の特色は何か		3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリ キュラムの作成・見直し等が行われているか
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか		3-6 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシ ップ, 実技・実習等)が体系的に位置づけられているか
1-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生 保護者等に周知されているか		3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか
1-5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界の ニーズに向けて方向づけられているか		3-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
基準 2 学校運営	P2	3-9 成績評価・単位認定, 進級・卒業判定の基準は明確になっているか
2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか		3-10 資格取得等に関する指導体制, カリキュラムの中での体系的な位 置付けはあるか
2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか		3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた 教員を確保しているか
2-3 運営組織や意思決定機能は, 規則等において明確化されてい るか, 有効に機能しているか		3-12 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務 含む)を確保するなどマネジメントが行われているか
2-4 人事, 給与に関する規程等は整備されているか		3-13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や 教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
2-5 教務の組織整備など意思決定システムは整備されているか		3-14 職員の能力開発のための研修等が行われているか
2-6 財務の組織整備など意思決定システムは整備されているか		基準 4 学修成果
2-7 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されて いるか		P5
2-8 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか		4-1 就職率の向上が図られているか
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか		4-2 資格取得率の向上が図られているか
基準 3 教育活動	P3~P4	4-3 退学率の低減が図られているか
3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されて いるか		4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
3-2 教育理念, 育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか		4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し, 学校の教育活動の改善 に活用されているか

基準 5 学生支援 P6

- 5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 5-2 学生相談に関する体制は整備されているか
- 5-3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
- 5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 5-6 学生の生活環境への支援は行われているか
- 5-7 保護者と適切に連携しているか
- 5-8 卒業生への支援体制はあるか
- 5-9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 5-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

基準 6 教育環境 P7

- 6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 6-3 防災に対する体制は整備されているか

基準 7 学生の受入れ募集 P7

- 7-1 学生募集活動は、適正に行われているか
- 7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 7-3 学納金は妥当なものとなっているか

基準 8 財務 P8

- 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか
- 8-4 財務情報公開の体制整備はできているか

基準 9 法令等の遵守 P9

- 9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 9-4 自己評価結果を公開しているか

基準 10 社会貢献・地域貢献 P9

- 10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 10-3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか

基準 11 国際交流 P10

- 11-1 留学生の受入・派遣について戦略を持って行っているか
- 11-2 留学生の受入・派遣、在籍管理等において適切な手続等がとられているか
- 11-3 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか
- 11-4 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

基準1 教育理念・目標・育成人材像等

点検小項目		*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	明確に定められている。	教育理念・校訓は、学則・学生生活のしおり・学校 HP に明記されている。	なし	学則 学生生活の手引き 『たより IGL』 HP・入学案内
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4	国家資格養成校であり、卒業時受験資格を取得する制度改変に対応しようとしている。	教育課程の改変に着手している。	教育課程の改変・指導能力の向上を目指す。研修を進めていく。	教育課程 シラバス HP・入学案内
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	介護業界との連携を組織的に取れているとは言い難いが、実習巡回を通して肌身を感じている。	介護実習の出張報告	教育課程編成委員会を来年度実施して、介護福祉士国家資格取得100%の学校を目指す。	『たより IGL』
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3	IGL グループ広報誌『たより IGL』を公報している。	学生に教育理念・校訓を説明する機会がある。	入学式・卒業式の式辞において訴え、学校生活で実践する。	学則 学生生活の手引き 『たより IGL』 HP・入学案内
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	就職100%達成に向けて授業・介護実習を実施している。	家庭介護など就職しない学生がいるが、実質的に就職100%達成している。	介護福祉士国家資格取得100%の学校を目指す。来年度は教育課程を受験体制確立に向けて改変する。	教育課程 シラバス HP・入学案内

* 点検の進み具合 [適切 … 4 ほぼ適切 … 3 やや不適切 … 2 不適切 … 1]

基準 2 学校運営

点検小項目		*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	事業計画は全教職員が策定工程全般に関与しており、役員会に提出している。	平成 24 年度事業計画のとおり	役員会には提出しているが、情報公開していない。情報公開する。	事業計画
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	事業計画は全教職員が策定工程全般に関与して、役員会に提出している。	平成 24 年度事業計画のとおり	役員会には提出しているが、情報公開していない。	事業計画
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	教職員が少ないという事情があり会議の形態をとらない場合があるが、校務運営組織・規則等は完備されている。	IGL 学園規程集が完備されている。	公開に耐える規程集であるが、検討の余地がある。	校務運営組織図 IGL 健康福祉専門学校規程集
2-4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	2	人事、給与に関する規程等が公開されていない。	文書化された人事・給与に関する規程等が公開されていない。	組織に応じた人事・給与に関する制度の策定とその公開が必要である。	なし
2-5	教務の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	校務運営組織が確立され、年度途中における状況変化に対応した組織変更を行っている。	校務運営組織図の年度途中における変更を行っている。	教育現場のニーズを組織的に把握して意思決定する校務運営が求められる。	校務運営組織図 IGL 健康福祉専門学校規程集
2-6	財務の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2	財務状況を日常業務に反映して、業務計画策定していない。	財務状況の報告を情報公開できていない。	日常の財務状況を教職員で共有して、教育課題が達成できる日常業務を作り出す必要がある。	なし
2-7	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	一般的な業界と地域社会のニーズを把握している。	介護行政の最新情報を教材に生かす工夫をしている。	教育課程編成委員会を組織して、業界からの要望を教育課程に反映する必要がある。	校務運営組織図 IGL 健康福祉専門学校規程集
2-8	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2	教育活動全般に関する情報公開をしていない。事業報告を作成し、自己評価を役員会に提出している。	事業報告を作成し、自己評価を役員会に提出している。	充実した自己評価を行い、役員会に提出するのは勿論、学校関係者評価を実施して情報公開していく。	事業報告
2-9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	教職員全員に ITC 端末が貸与されており、情報共有のシステムは確立されている。	勤務時間内に業務を終える事が出来ないことがある。	教職員全員が ITC システムを活用して、業務の効率が高まるように運営していく。	教職員全員にメールアドレスが与えられている。

* 点検の進み具合 [適切 … 4 ほぼ適切 … 3 やや不適切 … 2 不適切 … 1]

基準3 教育活動

点検小項目		*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	本校独自の教育内容が教育課程に位置づけられ実施されている。	DT（ダイバーショナルセラピー）が本校独自教育内容として実施されている。	個別介護であり、理想的な介護であるが、人的資源にゆとりが無く福祉施設内で普及しない。福祉行政の貧困が原因。	DT（ダイバーショナルセラピー）修了証書
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	国家試験対策の準備期間と位置づけ、模擬試験を実施している。夏季講習会を開いて学生の学力向上。	校内外の研修会に参加し、対策会議(学務委員会)を実施した。	カリキュラムの全体的見直しをし、国家試験合格100%を目指す学校に変わる。	国家試験対策研修参加 夏期講習会
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	国家資格取得に向けた教育課程を編成している。	厚生労働省の指導に基づく教育課程と介護実習を実施している。	国家資格受験合格を目指す教育課程への編成作業を進める。	教育課程
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	本校独自の教育内容が実施されており、施設連携の下で介護技術の向上を目指している。	DT（ダイバーショナルセラピー）や里孫制度が実施されている。	現在の学生には放課後の時間的ゆとりが無いので、里孫制度の普及に困難を感じている。将来的には試験対策でゆとりある学校環境の維持が課題。	DT（ダイバーショナルセラピー）修了証書 里孫制度
3-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	介護実習で施設の指導を受けている。組織的にカリキュラムへ反映する機会を設けていない。	2年間で450時間の介護実習を行っている。	業界の意見を反映する教育課程編成会議を来年度開催する。	介護実習・社会福祉現場実習の要綱
3-6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	厚生労働省の国家資格介護福祉士であるから、計画的に介護実習を実施している。	介護実習を施設に引き受けていただき、教育の質を高めている。	座学・校内実習では学ぶことができない施設内の介護実習を通して、学生の介護技術の質を高める。	年間授業計画
3-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	授業アンケートを実施した。アンケート結果を教員は指導力向上に役立てた。	授業アンケートを実施し、教員の指導力向上に役立てた。	授業アンケートの活用方法が組織的でないことと、結果の公表に至っていない。	授業アンケート様式
3-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2	学校関係者評価を実施していない。	学校関係者評価を実施していない。	学校関係者評価を実施する。	なし

点検小項目		*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3	一定の単位認定等の基準は明確である。	卒業即国家資格付与であり判定が甘い。	平成26年度入学生から制度が変わり、教育課程の変更を行う。100%合格を目指す学校となる。	学生生活のてびき
3-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置付けはあるか	3	国家資格取得に向けた教育課程を編成している。	国家資格取得に向けた教育課程を編成している。	平成26年度入学生から制度が変わり、教育課程の変更を行う。100%合格を目指す学校となる。	教育課程
3-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	職業教育の経験豊かな教員を採用している。	職業教育の経験豊かな教員を採用している。	利用者のニーズに応える教育内容の開発が求められている。介護行政の動向を教材化する日常的学習が必要である。	介護福祉学科専任・非常勤講師一覧
3-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3	福祉施設等との連携は密であるが、優れた人材は限られており、内部育成をするマネジメントが要求される。	介護実習の巡回指導で福祉施設職員との連携は密である。	学生の介護技術を高めるためには、教員の目標設定が高いことが要件である。OJTを通しての指導力向上が課題である。	巡回指導報告書
3-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	現場経験を通して先進的な知識・技能を取得して教員になっている。介護実習を通して現場の課題を確認している。	先進的知識・技能の修得機会としての研修会を計画的に実施していない。	先進的知識・技能の修得機会としての研修会を計画的に開催する。	なし
3-14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2	職員の能力開発のための研修を計画的に実施していない。	職員の能力開発のための研修を計画的に実施していない。	受験合格は高い総合的な指導力の成果であることを意識した研修会を設ける。	なし

* 点検の進み具合 [適切 … 4 ほぼ適切 … 3 やや不適切 … 2 不適切 … 1]

基準 4 学修成果

点検小項目		*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-1	就職率の向上が図られているか	4	介護福祉士国家資格取得者を要求されている。	ほぼ100%就職率達成している。	求人状況に支えられている。卒業＝受験資格になった時の国家資格100%合格が課題。	なし
4-2	資格取得率の向上が図られているか	3	国家資格100%合格を目指して、来年度教育課程変更のための準備を進めている。	来年度教育課程変更のための準備を進めている。	卒業＝受験資格になった時の国家資格100%合格が課題であり、来年度教育課程変更を行う。	なし
4-3	退学率の低減が図られているか	3	限りなく学生個々に適合した指導をしている。	本校における退学は就職が多い。	今後は、卒業＝国家資格100%合格を目指して学生を指導していく。	なし
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	教職員は業界の情報を把握しており、概ね把握している。	業界の情報は入手できているので、教育内容に活用している。	教職員が社会的活動の意義・展望を持ち、卒業生・在校生を支援していく。	なし
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3	教職員が、介護福祉士の社会的意義・展望を持てるように努力している。	県介護福祉士会、介護福祉士養成協会広島県協議会との連携を取っている。	各種外部の研究会に出席し、広い教育研究を進めていく。	研修等の実績

* 点検の進み具合 [適切 … 4 ほぼ適切 … 3 やや不適切 … 2 不適切 … 1]

基準5 学生支援

点検小項目		*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	学生部が就職指導を行っており、教員が個別指導に当たっている。	求人票その他福祉施設情報を学生に閲覧させて選択機会を設けている。	介護実習を通して得た教員の持つ情報を、学生の就職活動に活かす。	校務運営組織図 求人・求職コーナー
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	3	学生部職員は介護福祉学科教員であり、担任である。個々学生の状況を把握して就職指導に当たっている。	校務運営組織図の通り。	就職支援・進学支援に関する情報は、広報係や求人票を通して把握できる。情報を学生に届ける方法を緻密なものとする必要がある。	校務運営組織図
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3	各種奨学金は提供できている。	募集要項に一覧を掲示している。	勤労意欲と人生設計に結びつく奨学金制度が求められている。	学生募集要項
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	定期的な健康診断、介護実習の要件としての健康診断を学校行事として組織している。	年間授業・行事計画に明示して実施している。	担任業務として日常の学生状況把握の感度を高める。	IGL 健康福祉専門学校年間授業計画・行事計画
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	学園祭・新入生歓迎遠足・秋季遠足が盛況である。	年間授業・行事計画に明示して実施している。	学生の自治会活動を育成して、クラブ活動の活性化を図る。	IGL 健康福祉専門学校年間授業計画・行事計画
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	3	経済基盤整備のための労働機会提供を行っている。	学生部が就職指導と平行してアルバイト紹介を行っている。	健康管理、交通安全指導を強化して、学習成績向上を目指す。	校務運営組織図
5-7	保護者と適切に連携しているか	3	前期・後期成績通知表で、出欠席状況もお知らせして保護者の理解を得ている。	成績通知表の発送をもって保護者の理解を得ている。	平成26年度入学生から卒業＝国家資格受験資格になるので、学習成果を上げる努力を保護者の協力の下で達成する。	成績通知表
5-8	卒業生への支援体制はあるか	3	同窓会事務局を教員が支えている。	本校卒業生が教員に就任しており、同窓会幹事となり支援をしている。	同窓会が卒業生支援を行えるよう、同窓会幹事の育成を行う。	同窓会役員名簿
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	広島県立高等技術専門校の委託訓練生受入と入学試験の社会人枠を有している。	広島県立高等技術専門校の委託訓練生受入と入学試験の社会人枠を有している。	大学生、社会人の入学を促す。介護保険制度を改正して介護福祉士の就業希望者を増加する事が求められる。	広島県立高等技術専門校の委託訓練生募集要項 学校募集要項
5-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高等学校申し出の校内ガイダンスによって高校生向けキャリア教育に積極的に関わっている。	校内ガイダンスを行った高等学校から毎年入学生を迎えている。	福祉分野理解のためには中学生、高等学校1年生からのキャリアガイダンスが有効である。	高等学校への広報活動実績

* 点検の進み具合 [適切 … 4 ほぼ適切 … 3 やや不適切 … 2 不適切 … 1]

基準 6 教育環境

点検小項目		*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	福祉施設連携により必要とされる施設・設備を有している。	厚生労働省介護福祉士養成校認可済み	20年を迎えた校舎は最新施設・設備ではなくなっている。	なし
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	介護実習、アルバイト紹介、海外短期留学を恒常的に行っている。	年間授業計画・行事計画に示している。	平成 26 年度入学生から卒業＝国家資格受験資格になるので、より確実な学習成果を上げる取り組みをする。	I G L 健康福祉専門学校年間授業計画・行事計画
6-3	防災に対する体制は整備されているか	2	防災計画を立てているが、防災訓練を実施していない。	防災訓練を実施していない。	来年度は防災訓練を実施する。	I G L 健康福祉専門学校年間授業計画・行事計画

* 点検の進み具合 [適切 … 4 ほぼ適切 … 3 やや不適切 … 2 不適切 … 1]

基準 7 学生の受入れ募集

点検小項目		*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	法令に基づき広報係・学生募集センターが教職員と協力して募集している。	法令に基づき広報係・学生募集センターが教職員と協力して募集している。	定員割れをしている現状を打破する改革を進める。	校務運営組織図
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	卒業生の実績、求人状況等正確に伝えている。	卒業生の実績、求人状況等正確に伝えている。	定員割れしている業界の全体状況を打破する改革を進める必要がある。	なし
7-3	学納金は妥当なものとなっているか	4	募集要項の表示通り	募集要項の表示通り	募集要項の表示通り	募集要項

* 点検の進み具合 [適切 … 4 ほぼ適切 … 3 やや不適切 … 2 不適切 … 1]

基準 8 財務

点検小項目		*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2	IGL学校法人連結決算、IGL健康福祉専門学校単年度決算は赤字である。	IGL学校法人連結決算、IGL健康福祉専門学校単年度決算は赤字である。	定員割れの中で単年度赤字のため、国内の学生募集にも力を入れるが、2014年度より2校の専門学校を統合し、経費を節約するとともに、留学生募集に力を入れ定員充足を図り、赤字を解消したい。	法人会計計算書
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	毎年2月役員会で、次年度の予算を審議している。	毎年2月役員会で、次年度の予算を審議している。	前年度の2月に審議するため、当該年度中に補正予算の必要なものが出てくる。そのため一次・二次補正予算を役員会で審議している。	なし
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	適正に行われている。	IGL学園監事及び公認会計士による監査を実施している。	特になし	監査報告書
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	3	情報は閲覧可能な状態に整備されている。	情報は校内に整備している。	情報公開規程に基づき、申請を受け付け、校内で閲覧する形式を採用している。	情報公開規程

* 点検の進み具合 [適切 … 4 ほぼ適切 … 3 やや不適切 … 2 不適切 … 1]

基準9 法令等の遵守

点検小項目		*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-1	法令，専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	法令，専修学校設置基準等に適合した運営を行っている。	厚生労働省認可の下で運営を行っている。	より質の高い教育活動を進めていく。	なし
9-2	個人情報に関し，その保護のための対策がとられているか	3	学校人 IGL 学園の個人情報の保護法に関する規程等を定めている	学校人 IGL 学園の個人情報の保護法に関する規程等を定めている	学校人 IGL 学園の個人情報の保護法に関する規程等を定めている	学校人 IGL 学園の個人情報の保護に関する規程等
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	授業アンケートを実施し，事業報告(評価)を役員会に報告した。	授業アンケートを実施し，事業報告(評価)を役員会に報告した。	私立専門学校等評価研究機構のガイドラインに沿った評価項目で評価していない。	授業アンケート報告 事業報告
9-4	自己評価結果を公開しているか	1	自己評価結果を公開していない。	自己評価結果を公開していない。	自己評価結果を公開する。	なし

* 点検の進み具合 [適切 … 4 ほぼ適切 … 3 やや不適切 … 2 不適切 … 1]

基準10 社会貢献・地域貢献

点検小項目		*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	介護技術講習会を実施し，業界の要請に応えている。	介護技術講習会を年間6回実施した。	来年度も7回実施する。	募集チラシ等
10-2	学生のボランティア活動を奨励，支援しているか	3	介護実習を受け入れてもらっている老人施設や地方自治体の行事に参加している。	老人施設や地方自治体の行事からの依頼	里孫制度も含め，学生の自主活動を支援する。	募集チラシ
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3	厚生労働省委託訓練事業を積極的に受け入れている。	厚生労働省委託訓練事業を積極的に受け入れている。	来年度も積極的に受け入れていく。	受講生募集要項等

* 点検の進み具合 [適切 … 4 ほぼ適切 … 3 やや不適切 … 2 不適切 … 1]

基準 11 国際交流

点検小項目		*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
11-1	留学生の受入・派遣について戦略を持って行っているか	4	中国・ベトナムから留学生を受け入れている。	中国・ベトナムから留学生を受け入れている。	留学生を介護福祉学科に受け入れ、日本で、母国で、介護人材として活躍させる。	外国人留学生受入人数
11-2	留学生の受入・派遣，在籍管理等において適切な手続等がとられているか	4	適正校である。	適正校である。	今後とも適正校を維持すること，在留管理を適切に行う。	教育機関の選定結果について(広島入管)
11-3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	留学生生活指導委員会を定期的に開催している。	留学生生活指導委員会を定期的に実施した。	生活指導を適確に行うことによって，学習成果を高める。	留学生生活指導委員会議事録
11-4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3	実績を積み重ねている途中である。	N1合格者を輩出した。	今後看護コースを創設し，N1合格が通過点である(日本国看護師国家資格取得がひとまずのゴール)学校としてスタートしたい。	日本語学科成績優秀者表彰一覧

* 点検の進み具合 [適切 … 4 ほぼ適切 … 3 やや不適切 … 2 不適切 … 1]